

氏名	保科 寧子	部署	社会福祉子ども学科	職名	講師
研究分野	社会福祉学 (ボランティア 地域福祉 高齢者福祉)				
学位	博士(学術)				
学歴	1995年立教大学 文学部 キリスト教学科、07年筑波大学大学院 修士課程教育研究科、11年筑波大学大学院 人間総合科学研究科 ヒューマン・ケア科学専攻				
経歴	2008年埼玉県立大学 保健医療福祉学部 助教、12年4月埼玉県立大学 保健医療福祉学部 講師				
所属学会(役職)	日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本リハビリテーション連携科学学会、日本高齢者ケアリング学研究会(理事)				

### 【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	医療依存度の高い人々の在宅生活を支えるソーシャル・キャピタルに関する予備的調査：地域住民(アクティブシニア層)と医療専門職の意識の相違に関する検討	単著	高齢者ケアリング学研究会誌, 8(1), P27-34,	保科寧子	2017.10
2	地域共生社会に向けた医療福祉分野の専門職退職者も取り込むシニア人材育成の試み —専門職多職種連携教育を活用した地域課題検討を用いた実践から—	共著	地域ケアリング, 19(14), P39-41,	保科寧子	2017.11
(3) 学会発表					
1	該当なし				
(4) その他					
1	IPW実習(多職種連携教育)と地域の医療・福祉機関の専門職連携	共著	保健医療福祉学, 7, P 107-110,	飯岡由紀子, 押野修司, 榊原次郎, 酒本隆敬, 烏末憲子, 保科寧子, 森美紀, 山崎晃史	2018.3
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	該当なし				
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	ソーシャルワーク概論	2017.10~2018.2	ソーシャルワークにおける専門職としての基本的な考え方や職業倫理について、Webclassを活用しながら主体的に取り組めるような課題を設定し学習を進めた。		
2	ソーシャルワーク論 I	2017.4~20167.7	インテーク、アセスメント、介入などについて個別援助技術をさまざまな事例を活用しつつ実践的に学習した。		
3	グローバルヘルス	2017.11	日本に暮らす外国人の保健医療福祉に関する現状と課題を知ること为目标として講義を担当し、外国人にまつわる保健や医療に関する諸問題を紹介した。		
4	ヒューマンケア論	2017.4~2017.7	ヒューマンケア論で利用するwebclassの課題やアンケート設定を行った。また講義の最後に実施するグループワークでの指導を担当した。		
(2) 演習					
1	社会参加活動	2017.4~2017.8	社会参加活動について紹介し、実際に活動を体験できるように、活動時の諸注意、活動先の紹介などを行った。最後に社会参加活動の振り返りを行い、その意味を考える場を設定した。		
2	ソーシャルワーク演習 I	2017.10~2018.2	ソーシャルワークの基本的技術(傾聴の手法や話を聴きやすい距離、人間理解など)をグループワークの中で学習する。		

3	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2017.10～2018.2	ソーシャルワークにおけるグループワークの手法を指導した。ロールプレイにより実際にグループワークを行うワーカーとしての体験を経て実践的な学びとなる形式となっている。	
4	ソーシャルワーク専門演習Ⅰ	2017.4～2017.8	コミュニケーションについて学生の関心のあるテーマから学ぶ。合わせて心理療法の一つである交流分析(エゴグラム・ゲーム理論など)を紹介し、対人援助への理解を深める。	
5	ソーシャルワーク専門演習Ⅱ	2017.10～2018.2	ソーシャルワーク専門演習Ⅰに同じ。	
6	ソーシャルワーク専門演習Ⅲ	2017.4～2017.8	ソーシャルワーク専門演習Ⅱの内容を発展させ、交流分析における人生脚本の考え方を紹介する。後半は、学生がそれぞれ関心のあるテーマから人の思考やコミュニケーションについて調査した結果を発表する。	
7	ソーシャルワーク専門演習Ⅳ	2017.10～2018.2	ソーシャルワーク専門演習Ⅲに同じ。	
8	卒業研究	2017.4～2017.11	7名の学生に対し、研究の種類について紹介し、研究論文の書き方、文献検索の仕方などを指導した。	
<b>(3) 実習</b>				
1	ソーシャルワーク実習Ⅱ	2017.8～2017.9	ソーシャルワークの過程を学ぶことを目的とした実習である。学びの深まるように個人面談だけでなくグループによる実習振り返りや電話・メールでの指導も実施している。	
2	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	2017.6～2017.8	円滑にソーシャルワーク実習Ⅱに入ることのできるよう、実習施設に関する講義を行い、主体的に事前学習を行えるように課題の作成と成果発表を行った。また実習課題の作成のために個別指導も実施した。	
3	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ	2017.10～2017.11	ソーシャルワーク実習Ⅱの体験を基にグループや個人で振り返りを行い、実習生の報告書作成を指導した。また、実習報告会での発表資料の作成も支援した。	
4	IPW実習	2017.8～2017.10	埼玉成恵会病院において地域課題検討型のIPW実習の指導を実施した。	
<b>(4) 論文指導</b>				
1	該当なし			
<b>(5) その他</b>				
1	学部生の学生相談支援		学生生活や単位履修に関する個別相談を行った。	
<b>4. 社会貢献活動</b>				
<b>(1) 講演会、研修会等の講師</b>				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	ボランティア入門講座	越谷市社会福祉協議会	ボランティア活動を希望する地域住民を対象としたボランティアの基礎知識を学ぶ講座	2017.11
2	福祉推進員研修	越谷市社会福祉協議会	地域福祉推進のための地域活動の基礎知識の紹介と地域課題を検討するためのグループワーク	2017.6 2017.10
3	平成29年度 社会福祉士実習指導者講習会	埼玉県立大学	実習マネジメント論講義	2017.6
4	地域包括支援ネットワーク会議	地域包括支援センター蒲生	地域から孤立する高齢者に関する講義	2017.8～2017.9
5	高校生対象出張講座	私立昌平高校	社会福祉の現代的意義と実践	2017.6
6	地域支えあい講座	宮代町社会福祉協議会	地域支え合いに関する講義と演習	2018.2
7	介護支援ボランティア研修会講師	八潮市社会福祉協議会	介護支援ボランティア研修会	2018.3
8	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程	国立障害者リハビリテーションセンター 学院	地域福祉領域	2016.11
<b>(2) 国、自治体、財団法人等における委員等</b>				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉県春日部市 地域包括支援センター運営等協議会	会長		2012.7～現在
2	埼玉県三郷市 障がい者計画・障がい福祉計画策定懇話会	会長		2014.4～現在

3	埼玉県春日部市 春日部市都市再生協議会 委員	委員	2016.7～現在
4	公益社団法人埼玉県社会福祉士会 権利擁護センターぱあとなあ業務監査委員会	委員	2017.4～現在
5	埼玉県北本市 北本市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画策定委員会	会長	2017.5～2018.3
6	埼玉県富士見市 富士見市指定管理者候補者審査委員会	会長	2017.8～2017.11
7	埼玉県三郷市 三郷市障がい者差別解消支援地域協議会	会長	2018.3～現在
<b>(3)ジャーナリズムでの発言</b>			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
<b>5. 学内運営(委員会委員)</b>			
1	共同実験室管理部会 委員		
2	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 編集委員		
3	専門職連携推進部会 比企地域担当		
4	社会福祉子ども学科 社会福祉士試験支援担当		
5	オープンキャンパス 社会福祉子ども学科 個別相談担当		
<b>6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)</b>			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
<b>7. 特許の保有状況</b>			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
<b>8. 特記事項</b>			
	該当なし		